

みんな「あったかチルドレン！」



東 秋 留

9 月号
令和 7 年 9 月 1 日
あきる野市立
東秋留小学校



いじめは絶対許しません。

— 2 学期 確かな学力の定着に向けて —

副校長 矢澤 英輝

長かった夏休みも終わり、東秋留小学校に元気な声が戻ってきました。いよいよ 2 学期の始まりです。まだまだ暑い日が続くと思いますが、児童が早く生活リズムを整え、よりよい学校生活が送れるよう、家庭での言葉かけを引き続きお願いします。合わせて、お子さんの体調や様子もよく見てください。不安な様子や心配なことがありましたら、ぜひ学校までお知らせください。

さて、4 月 17 日（木）に 6 年生が実施した全国学力・学習状況調査の結果が届きました。

【令和 7 年度 東秋留小学校の調査結果】

平均正答率	国語	算数	理科
全国	66.8	58	57.1
東京都	70	64	60
あきる野市	65	54	54
東秋留小	67	57	60

これを観点別に分析したものが下の表です。

国語（観点）	知識・技能	思考・判断・表現
全国	74.5	63.8
東秋留小	68.5	66.0
算数（観点）	知識・技能	思考・判断・表現
全国	65.5	48.3
東秋留小	63.9	48.1
理科（観点）	知識・技能	思考・判断・表現
全国	55.3	58.7
東秋留小	59.4	60.9

平均正答率で比較すると、国語と算数は全国の平均正答率と同程度ですが、東京都の平均正答率には惜しくも届いていないこと、理科については全国の平均正答率を上回り、東京都の平均正答率と同程度の水準であることが分かりました。

結果のよかった点として、1 つ目は観点別の「思考・判断・表現」の正答率が全国の水準と同程度か上回っていることです。学んだことを活用したり、表現したりする力が日々の授業を通して、しっかりと身に付いていることが分かります。2 つ目は、昨年度の課題であった「無回答率」の減少です。昨年度の調査では無回答の割合が多かったのですが、今年度は無回答率が 5 % 弱で、ほとんどの児童が自分の考えを書き表したり、粘り強く取り組んだりすることができていました。東秋留小学校の児童のよさがよく表れていました。

課題点は、「漢字」と「図形」です。

今回出題された漢字は、「相手のこのみに～」や「あつい日に～」など、中学年で習った漢字が出題されましたが正答率は 70 % 弱でした。学習した漢字を日常的に使ったり読んだりする習慣をつけていく必要があります。

図形問題では指定された図形を選んだり、面積を求めたりする問題に課題が見られました。漢字と同様に前の学年で学習した内容を振り返る機会を意図的に設けていく必要があります。

数字だけを取り上げて一喜一憂すべきではありませんが、児童が今後自分の目指したい未来に向かって進もうとしたとき、身に付けている学力によって道が開けたり、逆に道が閉ざされたりすることがあります。児童が自分の将来を切り拓き、選択していく上で学力は重要な資質の一つになってきます。学力の向上は学校の責務です。今後も一人一人に寄り添い、学習意欲の向上や学習方法の習得、知識・技能の定着を目指し、授業改善に努めていきます。